

学校通信



喜多見



No. 7 令和 7 年 11 月 27 日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

役に立てる喜び

秋も深まり、地域の行事や奉仕活動が盛んに行われる季節となりました。3日（月）に開催された「喜多見地区区民まつり」では、本校の生徒たちは吹奏楽部の演奏披露をはじめ、受付での場内アナウンスやごみ袋等の配布など、さまざまな場面で活躍する姿がありました。これまでも喜多見での花火大会、町会での祭礼、児童館のイベント等で多くの生徒たちがゲストではなく、ホストとして活躍するなど、ボランティア活動もコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあります。学校では、諸行事や部活動、また、委員会等の係活動で献身的に協力したり貢献したりする姿を平素より確認できるのですが、校外で地域貢献するその様は新鮮で、身体もひと回り大きく見えるのは不思議です。本校の教職員の一人としてとても誇らしく、また改めて子どもたちの頼もしさと成長を強く感じるところです。



ボランティア活動は、人のために何かをするだけではありません。「自分の行動が誰かの笑顔につながった」、「ありがとうと言ってもらえて嬉しかった」などを実感することで、“自分は誰かの役に立てる”という自己有用感を育みます。この“役に立てる喜び”の体得は、自分に自信をもたらすとともに、社会の一員として前向きに生きていくための大切な原動力となると思っています。活動後、生徒たちが「やってよかった」、「またやりたい！」と話してくれるのをよく耳にします。その言葉の裏には、自分を認めてもらえた喜びや、人とのつながりを感じた温かい経験があったのだと確信します。こうした体験は、子どもたちにとって教室の学びだけでは得られない心の成長の機会でもあるのです。地域の方々から温かい励ましの言葉をいただき、感謝申し上げます。学校と地域が一体となって子どもたちを育てていることを感じます。

(写真は「喜多見地区区民まつり」の一コマ)

ボランティア活動を通じて期待できる効果は、自己有用感の向上だけではありません。他者の立場や気持ちを理解しようとする、思いやりや共感性の心も育てます。また、地域の人や異なる年代の人と関わることで、コミュニケーション力や社会性、協調性の伸長にもつながります。そして何より、「自分から行動する経験」を積むことで、主体的に考えて動く力や責任感も向上し、将来の進路や職業を考えるきっかけになるなど、良いことばかり。まさに将来へのキャリア形成に直結すると感じます。

ご家庭でも、お子さんが誰かのために行動したとき、「よく頑張ったね」、「きっと喜んでもらえたね」といった温かい言葉をかけていただけだと、子どもたちは自分の存在を一層誇らしく感じると思われます。ご家庭での励ましが、次の行動への大きな力となります。これからも学校と家庭、そして地域が手を携え、子どもたちが「役に立てる喜び」を実感しながら、自信をもって成長していくよう共に支えていきたいです。



右下の写真は、事務室と3Aとの間にある階段出入口付近の掲示板。地域の皆様からお申し出いただいた、企画の紹介（“そうだ、喜多見中生に頼もう！”）「喜多見中ボランティア派遣依頼申し込み用紙」を求人広告のように貼っています。※現在募集中は、避難所運営訓練、きたみ食堂、鎌田区民センター、慶元寺落ち葉掃き、の各ボランティア募集。本校生徒が活躍できそうな、安全で有意義な企画がありましたら、ぜひともご相談ください！

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（齋藤優太）

11月の冷たい風が冬の訪れを感じさせる中、1年生たちは、学習面・生活面ともに大きな成長を見せています。学習面では、期末テストに向けて自宅での学習時間が増え、計画的に勉強に取り組む姿が見られるようになりました。友達と問題を出し合ったり、先生に質問したりするなど、主体的な学びが広がっています。中学生としての自覚が芽生え、学習への姿勢にも頼もしさが感じられます。



大蔵大根の栽培活動も順調に進んでいます。生徒たちは間引きや水やりなどの世話を丁寧に行い、畑には立派な葉が広がっています。収穫は12月を予定しており、実際に自分たちの手で育てた大根を収穫する日を楽しみにしています。

さらに11月4日に行われた、小学生を対象とした部活動体験では、1年生にとっては初めて「先輩」として後輩に接する機会となり、緊張しながらも優しく声をかけたり、活動の楽しさを伝えたりする姿が印象的でした。この経験を通して、責任感や思いやりの心が育まれたように感じます。寒さが増す季節ですが、心は温かく、たくましく成長していく1年生の姿に、今後のさらなる活躍が期待されます。

2年生の様子から（樋口絃子）

2年生は、中学校の中間地点を過ぎました。行事や部活動を通して3年生から少しずつバトンを渡された2年生は、進路と向き合う3年生の姿を見て、1年後の自分たちであることを自覚しているようです。その自覚からか、引き締まった心持ちでいる人が増えてきています。



まず、学習に向かう姿勢に変化が見られます。2学期の期末考査では、テストの点数に一喜一憂する姿が多くみられました。テスト前の休み時間は、気兼ねなく教科の先生に質問しにくる姿がとても頼もしいです。

一年後を見据えて気持ちが引き締まってきた人は、今が成長期です。12月の三者面談では、「これからの学校生活」や「進路」についての話をしながら、子どもたちの成長を後押しできる、実りある時間となることを願っています。（写真は「職場体験事後発表」をする2C 藤原さん）

3年生の様子から（廣瀬光恵）

友達のおかげで…

修学旅行で友達との距離が縮まったあの今年の合唱コンクール、今年は特に「友達のおかげで」と言葉にする生徒が多くいたように感じました。「舞台に上がる前に友達が向けてくれた笑顔で緊張がほぐれた」「頑張っていることは分かっているよ、の言葉に自信が持てた」「音を外しても誰も笑わず、アドバイスをしてくれたから思い切り頑張ろうと思えた」等々、友人からの励ましで殻を破れたというエピソードに、行事の持つ力とその中で成長していく中学生の力を感じました。

行事はこのようなエピソードを耳にする良いきっかけになりますが、日常の中で友達から影響を受けていることはたくさんあるのだろう、と日頃の姿を見ていても感じます。特に進路選択を前にしたとき、どのように高校を選択しているか、どのような目標を持っているかなど、同年代の発する言葉から受ける刺激は少なくないようです。友人の存在が大きくなる一方で、保護者の方々の存在の大きさも感じました。合唱コンクールの会場に保護者の方が入場してきたときのことです。舞台上で歌の練習をしつつ、多くの生徒が気もそぞろに保護者の方の姿を探していました。見ていてくれることが大きな励ましになっていることを感じました。卒業まであと4か月あまりになりますが、三学年教員一同、ご家族の方と共に生徒の成長を願い、見守っていけたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

E組の様子から（桐山信紀）

先月合唱コンクールを終え、早くも一ヶ月が経ちます。合唱コンクールでは、二週間前から放課後練習が始まり、E組は各学年の交流クラスで立派に歌う様子や応援しながら見守る生徒の姿が見られました。

今回は合唱練習期間から行っている『交流給食』のことをお話しします。交流クラスの生徒が一班ずつ毎日入れ替わりでE組の教室に来て、一緒に給食の時間を過ごすという企画です。行事前から交流することでお互いを知ることができたり、会話をしやすくしたりすることで、行事等での交流をしやすくするのが目的です。しかし、大勢が苦手な子や騒がしい環境が苦手な子もいるため、各学年でE組の生徒の実態に応じて様子を見ながら日程を組んでいます。E組の教室に入ると少し緊張していつもより会話を控える生徒もいましたが、交流クラスの生徒たちはE組の教室や、授業後に消し残っていたホワイトボードを見て、「同じところ今習ってる！」「静かで落ち着いていいなあ」などと会話があり、給食を終える頃には、「また来たい」「これからもよろしく」などと言う子もいてよい雰囲気で過ごすことができました。これまで教室が少し離れていた感じがありましたが、お互いの距離がぐっと近く感じる有意義な交流になったと思います。



後輩の皆さん、こんにちは。自分は中学3年生の時に喜多見中学校に転校してきました。最初は分からぬことがたくさんあり大変でしたが、E組の先生方やクラスメートに教えてもらい一年間ではありました。自分の力を伸ばすことができました。入学当初、自分は集団で物事をするのが少し苦手でしたが、運動会の練習も全員で一丸となって行うことができ、苦手が少し得意に変わった自分に、今振り返ると成長を感じることができました。

自分の学校生活での一番の思い出はやはり修学旅行です。京都、奈良を事前学習で調べ、みんなで行きたいところを回れたのが最高の思い出になりました。

修学旅行の後は受験に向けて、学校だけではなく塾でも勉強に集中し、それまでの遅れを少しずつ取り戻し受験の日を迎えることができました。高校受験で頑張れた経験は自分の中の一つの自信になったと思っています。

私の今通っている学校は「正則学園」という学校で男子校になります。たくさん新しい友達もでき、毎日楽しく通うことができています。しかし高校生になってから授業の科目が増え、内容も格段に難しくなってきており、勉強についていくためには自分で学習時間を確保し、計画する自主性が大切になると感じています。

最後に在校生の皆さんには、難しかったり、大変なことにもチャレンジしてほしいと思います。思い出すと高校受験の勉強は大変でしたが、今ではその経験が生きていると思うので、後輩の皆さんも今の頑張りは無駄にならないと信じて進んでいってください。自分は喜多見中学校に来る前に色々失敗することがありました。たくさんの先生に支えられて助けられました。なかなか自分の気持ちが整理できずうまくいかないとき、立ち止まってどうすればよいか周りの人に聞いてみることで、自分と違った視点からアドバイスがもらえて考える力がつきました。去年一年頑張れたお陰で、毎日楽しい高校生活を送ることができます。在校生の皆さんには、今高校受験にむけてラストスパートを頑張っていることと思います。ゴールまで先生と力を合わせて走りきってください。



わたしの授業

今月は、1年生と2年生の美術を担当する講師の上村 千穂 先生の授業紹介です。おっしゃる通り、「日常の中にこそ美しさがある」と気づけたとき、世界が少し違って見えてくるかもしれませんね。ご自身も、中1と中3のお子さんのお母さんでもある上村先生。いつも明るく、素敵です！

「さあ！描きましょう！」こう言われて喜んで自由に描ける人もいれば、どう描いていいか分からない人もいます。自由に表現する。これは美術の授業ではとても大切にしているところですが、これだけでは表現活動は深まりません。例えばデッサンの授業では鉛筆の表現の多様さを知り、モチーフを描くときにどのように観察をすればより「らしく」なるのか考えます。また絵の具を混ぜて色を作ったり、水彩画の絵具の溶き方とデザインの絵の具の溶き方の違いを学んだりと様々な表現の基礎を理解することも大切にしています。実際にやっていると「おー、本當だ！できた！」と楽しげな声が聞こえてきます。

この基礎の上に表現の力をさらに高めるために、連想ゲームのようにイメージを膨らませ、そのイメージを取捨選択していく、発想の引き出し方や構想のまとめ方を学んでいきます。このような学習を経て3年生になると、より自由度の高い課題でも自分の思いや考えを具体的に作品にまとめていく力が育っていて、より深みのある作品が生まれていると実感しています。

もう一つ美術では観る力も大切です。友達の作品や画家の作品からメッセージや工夫、良さや美しさを感じ取る力。それが自分自身の表現力を高めていくことにもつながります。また美術作品だけでなく何でもないような道端の草花や石ころのようなものに対しても良さや美しさに気づく。そのような行動が皆さんの感性を高めてくれます。ぜひいろいろなものに気持ちを向けてみてください。



The 36th English Speech Contest 3名の生徒が出場しました！

日々の授業の成果として自分の考えを英語で発表するなど、「国際都市世田谷」にふさわしい英語教育のさらなる活性化を図る目的で、区では毎年英語によるスピーチコンテストを開催しています。29校の代表が集まる本コンテストのレベルは非常に高く、限られた時間内はもちろん、正しい発音、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声から、内容や聞き手を意識した態度まで厳しく審査の対象とされます。今年度は本校より3名の生徒がエントリーし、それぞれにへんに素晴らしいパフォーマンスを成城ホール（11/5）にて披露しました！



出場した3名の生徒

【1年 RECITATION の部】

1A 前川●●さん
(※3位入賞)

1A 海老沼●●さん

【SPEECH の部】

3A 石田●●さん

新入生部活動体験・学校紹介（4日）/ 新入生保護者説明会（8日）報告



『中学生になるのが楽しみです！』— 礼儀正しく、それでいて元気な挨拶が印象的な今年の喜多見小6年生を迎えて、4日（火）に「新入生部活動体験・学校紹介」を実施しました。授業や施設の見学の後、中学校生活について生徒会役員によるスライドや動画を用いたプレゼンがありました。その後の部活動体験では、各部の体験メニューを通じて小中の子どもたちが交流しました。

また、8日（土）には、「新入生保護者説明会」を開催しました。校長から経営の方針の他、各主幹教諭より入学にあたって情報提供を行いました。説明会に先立って実施の、「ガイドツアー」は今年もたくさんの児童保護者の方が参加。ご協力いただきました在校生保護者ボランティアの皆様に心より感謝申し上げます。（ボランティア：1A・3A 加藤●●様、1B 森本●●様、2B 村上●●様、2C 山田●●様 ありがとうございました！）。

◎本校への入学をお考えの皆様へ：次回の学校公開は、2月2日（月）から6日（金）です。本期間以外でも、ご参観いただけます。また、説明会でご案内した「入学前相談」を是非ご活用ください。どちらも、遠慮なくご相談ください。

正門の電子錠・トイレ洋式化 完了しました！

長年の懸案事項でした、正門の電子錠とトイレの改修工事がついに完了しました！種々のアンケート等では、『自由に入り出しができる良さよりも、昨今の他校での事件等の怖さの方が大きい…』、『トイレが汚くて臭い』、『洋式便器は数が限られているから、混む…』などの声を保護者の皆様や生徒たちから寄せられていました。

今回の工事完了をもって、校内には和式便器は一掃され、すべて洋式となりました。また、運動会などでの利用も想定し、校庭に面する1階格技室横のトイレを、おむつ交換も可能な「誰でもトイレ」にリニューアルしました。

電子錠では、特に解錠・施錠に際して皆様のご協力を要しますが何卒ご理解の程、よろしくお願いします。また、施設面での不安やご要望があれば、引き続きお声をお聞かせください。



第2回 多様な学びを考える保護者の会

2学期開催の回について、詳細が決定しました。今回も素敵なお話を聞き、有意義な時間になるよう努めます。お誘い合せの上、ご来校ください。

日 時：令和7年12月17日（水）
17時00分から（およそ90分程度）

講 師：大和久 愛 様
小～中で不登校を経験し、チャレンジスクールの都立大江戸高等学校を卒業。事務職として就職し、その後

IT企業へ転職。人事部として採用や教育を行う。東京都教育委員会や豊島区の不登校対策委員会にて不登校の経験を伝えている。



ぜひ、ご参会ください！

すぐーる配信済（喜多見中 11/17 喜多見小 11/18）

12月の予定から

12月1日（月）三者面談（～5日まで）

5日（金）「高校の先生による小論文対策講座」（3年生希望者）

8日（月）全校朝礼

9日（火）入試相談等につき3年生のみ午前授業（給食あり）

17日（水）「多様な学びを考える保護者の会」（17時00分から）

18日（木）「きたみ人権デー」

22日（火）生徒会朝礼

25日（木）終業式（給食なし、12時30分頃下校予定）

26日（金）冬季休業（～1月7日） 始業式 1月8日（木）

学校図書館を利用してください

12月1日（月）から三者面談が始まります。待ち時間を利用してぜひ図書館を利用してください。また、部活動でも極力再登校をすることのないよう指導しています。読書はもちろん、学習室としても、積極的に図書館の利用を奨励します。ご来校の際は、図書館にぜひお立ち寄りください！

12月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 式	26	27
28	29	30	31	1	2	3

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372